

2024年度/令和6年度 事業報告

NPO 法人 輪母ネットワーク

I. 事業の期間

2024年4月1日から2025年3月31日まで

II. 事業の成果

2024年度は、輪母ネットワークの活動と、拠点である「わははハウス」の持続可能な運用を見据えた体制の見直しに取り組んだ一年でした。従来はイベントや定例的な会合を軸とした運営を行っていましたが、今年度はそのスタイルを見直し、「いつでも・短時間でも・ふらっと立ち寄れる場所」をめざす開所形態へと方向転換を図りました。

現在の開所は週2～3日が中心ですが、これは将来的な“毎日開所”を目指す中で、無理なく続けられるペースを模索している過程にあります。その中でも、「その人のタイミングで、そっと立ち寄れる居場所」であることを大切に、予定された「会合」だけでなく、日々の開所時間の中でも自然な関わりが生まれる場づくりを意識してきました。

また今年度は、大阪市の公共人材バンクより派遣された公共人材にも活動をご支援いただき、団体としての足元を見つめ直す機会を得ることができました。日々の実践だけでなく、中長期的な視点からビジョンやミッションをあらためて言語化し、今後の事業計画をロングスパンで描きなおす作業にも着手しました。

透明性のある組織運営や持続性のある仕組みづくりについても、専門的な見地からのアドバイスを受けながら、無理なく取り組めるペースでの基盤整備を進めた一年となりました。目に見える変化だけでなく、静かに土を耕すような内側の手入れができたことも、大きな成果のひとつです。

さらに、地域とのつながりを丁寧に育て直すことにも力を注ぎ、成人の障害当事者によるボランティア参加が始まったことは、ピアの視点と実践が重なる貴重な一歩となりました。

大きなイベントや華やかな学びの場を増やすのではなく、“特別な日”ではなく“ふだん”に寄り添う場として、そっとそこにあり続けることを目指した一年でもあります。

一つひとつの活動は小さくても、その積み重ねが、「来ることがなくても、語ることがなくても、つながりが途切れない」という輪母ネットワークならではの安心を支え続けていることを実感する年度となりました。



NPO 法人
輪 母 ネットワーク

■ 防災ワークブックの印刷版制作と配布の開始

概要

- ・地域の助成を受けて、初めての印刷版をつくりました
- ・地域や全国の防災に関わる方々へ、冊子をお届けしました
- ・“命にかかわる情報に、経済的な壁があってはいけない”という思いが、助成にもつながりました



これまでオンライン版で発行してきた障害児者家庭向けの「防災ワークブック」について、2024 年度は初の印刷版を制作・配布することが実現しました。印刷にあたっては、赤い羽根共同募金・生野区ふれあい（障がい児・者支援）事業助成の採択を受け、初版 500 部を印刷することができました。まずは、生野区内の地域連合や防災関係者に配布し、地域防災の現場に関わる方々にこの視点をしっかり届けることを最優先に進めました。その後、大阪府内で防災活動を行う NPO や福祉施設関係者にも配布を広げました。

さらに、ジャパン女性防災リーダーサミットへの参加をきっかけに、全国の女性防災リーダーたちともつながりが生まれ、それぞれの地域での実践に役立ててもらえる形で冊子を手渡すことができました。このワークブックは、家庭ごとの個別支援計画に活用できる構成となっており、非常時に備えるだけでなく、家族の希望や不安に目を向ける“対話の道具”として、日々の暮らしのなかに防災を根づかせる工夫が随所に込められています。内容の充実度も高く評価され、配布開始から短期間で初版は在庫切れとなるほどの反響がありました。

その反響と理念に共感いただいたかたちで、公益財団法人 JR 西日本あんしん社会財団の支援が決定し、2025 年度には 5,000 部の無償配布が実現する予定です。

もともと旧版では 1 部 500 円での有償配布でしたが、今回は「命を守る情報に、経済格差でアクセスの壁をつくりたくない」という強い思いから、無償配布を前提とした取り組みに切り替えました。この理念に、助成元の方々からも深い理解と共感をいただいたことは、大きな励みになりました。

そして何よりも、この冊子を通して生まれた新しいつながりの数々は、防災にとどまらず、“共に生きること”の土台を広げるものとなりました。防災という切り口を入り口にして、地域の中で見えにくかった声が交わり、共生のまちづくりへとつながっていく実感を得られたのも、今年度の大きな成果のひとつです。

■ 地域連携の継続と信頼の構築

概要

- ・今年度も、地域の会議やイベントに継続して参加しました
- ・生野区の防災イベントや啓発活動にも、地元と連携して取り組みました
- ・少しずつ顔がつながり、「あ、知ってる」が広がる場づくりを続けています

輪母ネットワークでは、設立当初から地域とのつながりを大切にしてきました。

2024 年度も、生野区内で行われている福祉や子育て分野の連絡会、地域団体の定例会議に継続して参加し、顔の見える関係性を少しずつ育ててきました。

こうした日常的な出席の積み重ねは、一見地味に見えるかもしれませんが、「また来てくれてる」「前にも話したよね」といった小さな認知が広がっていくことで、“地域の中の当たり前の存在”として団体が自然に根づいていく感覚につながっています。

また今年度は、地域イベントとの連携の幅も広がりました。

たとえば、生野区の「ヒートアップ EXPO」と連動し、ひとひとケアクリニックと協力して防災啓発イベントを開催。防災グッズや個別支援計画の紹介に加え、破傷風ワクチン接種の大切さを伝える呼びかけも行いました。こうした医療・福祉との協働は、実践の中で信頼を深めるきっかけにもなっています。

さらに、「ワンデイヒートアップ 本気の大人のプレゼン」では、輪母ネットワークの活動理念を伝えるプレゼン発表を行い、支援や福祉に直接関わっていない地域の方々にも、わたしたちの思いや考えを届けることができました。

昨年に続き、「オール異」の防災イベントへのブース出展も実現し、防災という入り口を通して、障害児者とその家族が安心して地域に暮らすために必要な視点を伝えてきました。

これらの活動を通じて、イベントの一日限りの関係にとどまらず、「またね」と声をかけ合えるようなつながりを少しずつ増やすことができたと感じています。

地域との協働は、支援を届ける手段であると同時に、“ともに暮らすこと”を育てる営みでもある——そう実感できる一年となりました。



■ 障害当事者によるボランティア参加と地域交流

概要

- ・障害当事者のメンバーが、資料整理やイベント運営などで活躍してくれました
- ・地域の子ども施設と連携し、手づくりおもちゃの制作を続けています
- ・卒園・入園式で、障害児育児の先輩としてあたたかなメッセージを届けました

今年度、輪母ネットワークにとって大きな意味を持った取り組みのひとつが、成人の障害当事者によるボランティア参加の広がりです。わははハウスでの資料の整理やイベントスタッフとしての役割を担い活動に関わってくれました。必要とされる場があること、そして自分のペースでその場に参加できることは、当事者本人にとっても、わたしたちにとっても大切な経験の積み重ねとなっています。



また、地域の子ども向け施設「とけいワニ」では、継続して手づくりのおもちゃ制作に取り組み、施設の保育者と協力しながら、子どもたちが安心して遊べる環境づくりに貢献しています。こうした日常的な関わりに加えて、今年度は卒園式・入園式のあいさつの機会もいただきました。そこでは、障害児育児という同じ道を先に通った保護者として暖かいエールを送りました。

さらに、輪母ネットワークの活動をベースにした講師派遣の依頼も増加しました。今年度は、大阪府老人クラブ連合会・聴覚支援学校・PTA・ドッジボール協会などからご依頼をいただき、障害児者防災やスマホの安全な使い方といったテーマで講演を行いました。日常に寄り添った視点で語る防災や情報リテラシーの話は、どの世代にも身近なテーマとして受け取っていただけることが多く、地域の対話の入り口にもなっています。

わたしたちは、“支援する/される”という固定的な枠組みではなく、それぞれの経験や視点を持ち寄りながら、「地域でともに生きる」関係をゆるやかに育てていくことをこれからも大切にしていきたいと考えています。



III. 事業の実施状況

I. 特定非営利活動に係る事業

(1) ピアコミュニティ運営による当事者及び家族支援事業

【内 容】 個別ピア、サロン活動

【実施場所】 わははハウス(大阪市生野区勝山北 5-11-18-2F),インターネット,電話,訪問他

【収 益】 0円

【費 用】 62,085 円

	実施回数
会合(0歳~15歳)	12回
会合(12歳~成人)	12回
会合(合同)	2回
個別ピアほこほこ	73回

(2) 障害児者の支援者へのサポートを中心とした地域連携事業

【内 容】 地域ボランティア事業、事業所等訪問、連絡会への参加による地域連携

【実施場所】 各所

【実施日時】 随時

【収 益】 37,500 円

【費 用】 0円

	事業名・参加連絡会	実施内容・参加実績
地域ボランティア事業	ちくちく(児童発達支援でのおもちゃづくり)	実施:11回
連絡会等参加	生野区学童期子ども支援連絡会	参加回数:役員会10回,連絡会9回,イベント2回
	地域共生推進委員会	参加回数:連絡会4回
	生野区 NPO 連絡会	参加回数:10回
	いくのっ子応援事業実行委員会	参加回数:9回,イベント2回
	大阪子ども支援ネットワーク連絡会	2回

(3) セミナー実施及び講師派遣による啓発講演事業

【内 容】 学習会、講師派遣

【実施場所】 各所

【実施日時】 学習会：随時 講師派遣：随時

【収 益】 80,700 円（うち助成金：50,000円）

【費 用】 61,940 円

講師派遣	テーマ	派遣数
	障害児者防災	4件
	その他	6件
合計		10件

(4) コミュニティスペース運営事業

【内 容】 地域コミュニケーションハブわははハウス運営

【実施場所】 地域コミュニケーションハブわははハウス（大阪市生野区勝山北5丁目11番18号2F）

【実施日時】 毎週 月・火・木・金（だいたい） 水・土（たまに）

【事業の受益者合計】 613名

【収 益】 220,000円（うち助成金：150,000円）

【費 用】 734,887 円

『わはは ハウス』	2024年									2025 年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
開所日数	14 日	9 日	12 日	16 日	10 日	16 日	19 日	16 日	15 日	9 日	13 日	16 日	171 日

IV. 会員総会の開催状況

第2回 通常総会

日時:2024年度 6 月 8 日 12時8分~12時32分

場所:大阪市生野区勝山北 5-11-18 わははハウス

正会員数:18名

出席者数:12名(うち委任状出席者数4名)

第1号議案 事業報告・活動計算書・貸借対照表・財産目録 承認の件

第2号議案 本年度の事業計画書承認の件

第3号議案 本年度の活動予算書承認の件

第4号議案 役員の任期満了に関する改選の件

第5号議案 役員報酬承認の件

V. 理事会その他の開催状況

第2回 理事会

日時:2024年 4 月 20日 15時 52分~16時4分

場所:大阪市生野区勝山北 5-11-18 わははハウス

出席者数:5名(うち委任状出席者数0名)

第1号議案 第2回定期総会の招集の件

第2号議案 第2回総会に付議すべき事項の件

第3号議案 議事録署名人選任の件

第3回 理事会

日時:2025年3月 27 日 14時10分~14 時54分

場所:大阪市生野区勝山北 5-11-18 わははハウス

出席者数:4 名(うち委任状出席者数 1 名)

第1号議案 2025 年度の事業計画と予算の件

第2号議案 2025 年度の理事選任の件

VI. 受け取り助成金一覧

生野区社会福祉協議会 生野ふれあい助成金 赤い羽根共同募金 50,000 円

大阪市社会福祉協議会 善意銀行 150,000 円

JR 西日本あんしん社会財団 活動助成 500,000 円(※2025 年度実施事業対象)

2024年度 活動計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

NPO法人 輪母ネットワーク
(単位:円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
受取会費	112,000	112,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	216,000	216,000	
3. 受取助成金等			
受取助成金	200,000	200,000	
4. 事業収益			
①ピアコミュニティ運営による当事者及び家族支援事業	0		
②障害児者の支援者へのサポートを中心とした地域連携事業	37,500		
③セミナー実施及び講師派遣による啓発講演事業	30,700		
④コミュニティスペース運営事業	70,000	138,200	
5. その他収益			
受取利息	701		
雑収益	0	701	
経常収益計			666,901
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当			
人件費計	0		
(2) その他経費			
業務委託費	0		
謝金	0		
旅費交通費	0		
通信運搬費	158,225		
消耗品費	145,349		
水道光熱費	68,888		
地代家賃	480,000		
保険料	0		
諸会費	0		
支払手数料	0		
広告宣伝費	6,450		
雑費	0		
その他経費計	858,912		
事業費計		858,912	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	66,000		
人件費計	66,000		
(2) その他経費			
交際費	0		
通信運搬費	10,276		
消耗品費	140,437		
地代家賃	60,000		
諸会費	32,600		
租税公課	1,200		
支払手数料	5,088		
広告宣伝費	37,242		
その他経費計	286,843		
管理費計		352,843	
経常費用計			1,211,755
当期経常増減額			△ 544,854
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益		0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損		0	
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			△ 544,854
法人税、住民税及び事業税			
当期正味財産増減額			△ 544,854
前期繰越正味財産額			2,172,604
次期繰越正味財産額			1,627,750

2024年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

NPO法人 輪母ネットワーク

2025年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金	109,437		
PayPay銀行(API)	1,799,624		
三井住友銀行(API)	209,689		
商品券			
商品券	9,000		
流動資産合計		2,127,750	
2 固定資産			
固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計(A)			2,127,750
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債			
前受金	500,000		
流動負債合計		500,000	
2 固定負債			
固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計(B)			500,000
正味財産(A)－(B)			1,627,750

2024年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

NPO法人 輪母ネットワーク

2025年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	2,118,750		
商品券	9,000		
流動資産合計		2,127,750	
2 固定資産			
固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計(A)			2,127,750
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	500,000		
未払金	0		
預り金	0		
流動負債合計		500,000	
2 固定負債			
固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計(B)			500,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		2,172,604	
当期正味財産増加額(減少額)		△ 544,854	
正味財産合計(C)			1,627,750
負債及び正味財産合計(B) + (C)			2,127,750

事業計画案

2025年4月1日から2026年3月31日まで

NPO法人 輪母ネットワーク

I 事業の実施方針

本団体が目指す「障害のある子どもと大人とその家族が地域で過ごしやすい環境」の実現に向けて、以下の活動を継続的に実施する。また、当団体の活動を積極的に発信していくことで、障害児者とその家族への支援の重要性および、支援者へのサポートの必要性を広く知ってもらうことで、当団体への理解者と協力者を増やしていくことを目指す。

II 事業の実施に関する事項

1 特定非営利活動に係る事業

(1) ピアコミュニティ運営による当事者及び家族支援事業

【内 容】 個別相談、サロン活動

【実施場所】 各所

【実施日時】 個別相談：随時 サロン活動：月2回

【事業の対象者】 障害当事者及びその家族

【収 益】 0 千円

【費 用】 110 千円（通信運搬費 70,000 円 消耗品費 10,000 円 広告宣伝費 30,000 円）

(2) 障害児者の支援者へのサポートを中心とした地域連携事業

【内 容】 地域ボランティア事業、事業所等訪問、連絡会への参加

【実施場所】 各所

【実施日時】 随時

【事業の対象者】 障害児者支援者及び支援団体

【収 益】 0 千円

【費 用】 10 千円（消耗品費 10,000 円）

(3) セミナー実施及び講師派遣による啓発講演事業

【内 容】 学習会、講師派遣

【実施場所】 各所

【実施日時】 学習会：随時 講師派遣：随時

【事業の対象者】 障害当事者及びその家族、支援者、支援団体

【収 益】 500 千円（助成金）

【費 用】 510 千円（消耗品費 510,000 円）

(4) コミュニティスペース運営事業

【内 容】 地域コミュニケーションハブわははハウス運営

【実施場所】 地域コミュニケーションハブわははハウス

(大阪市生野区勝山北5丁目11番18号2F)

【実施日時】 随時

【事業の対象者】 障害当事者及びその家族、支援者、支援団体

【収 益】 60 千円（貸スペース費 60,000 円）

【費 用】 700 千円（通信運搬費 80,000 円 消耗品費 40,000 円 広告宣伝費 30,000 円
水道光熱費 70,000 円 地代家賃 480,000 円）

2025年度 活動予算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

NPO法人 輪母ネットワーク
(単位:円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
受取会費	100,000	100,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	200,000	200,000	
3. 受取助成金等			
受取助成金	500,000	500,000	
4. 事業収益			
①ピアコミュニティ運営による当事者及び家族支援事業	0		
②障害児者の支援者へのサポートを中心とした地域連携事業	0		
③セミナー実施及び講師派遣による啓発講演事業	0		
④コミュニティスペース運営事業事業	60,000	60,000	
5. その他収益			
受取利息	0		
雑収益	0	0	
経常収益計			860,000
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
業務委託費	0		
謝金	0		
旅費交通費	0		
通信運搬費	150,000		
消耗品費	570,000		
水道光熱費	70,000		
地代家賃	480,000		
支払手数料	0		
広告宣伝費	60,000		
雑費	0		
その他経費計	1,330,000		
事業費計		1,330,000	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	66,000		
人件費計	66,000		
(2) その他経費			
交際費			
通信運搬費	10,000		
消耗品費	30,000		
地代家賃	60,000		
保険料	1,000		
諸会費	30,000		
租税公課	0		
支払手数料	0		
広告宣伝費	30,000		
その他経費計	161,000		
管理費計		227,000	
経常費用計			1,557,000
当期経常増減額			△ 697,000
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益		0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損		0	
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			△ 697,000
法人税、住民税及び事業税			
当期正味財産増減額			△ 697,000
前期繰越正味財産額			2,127,750
次期繰越正味財産額			1,430,750